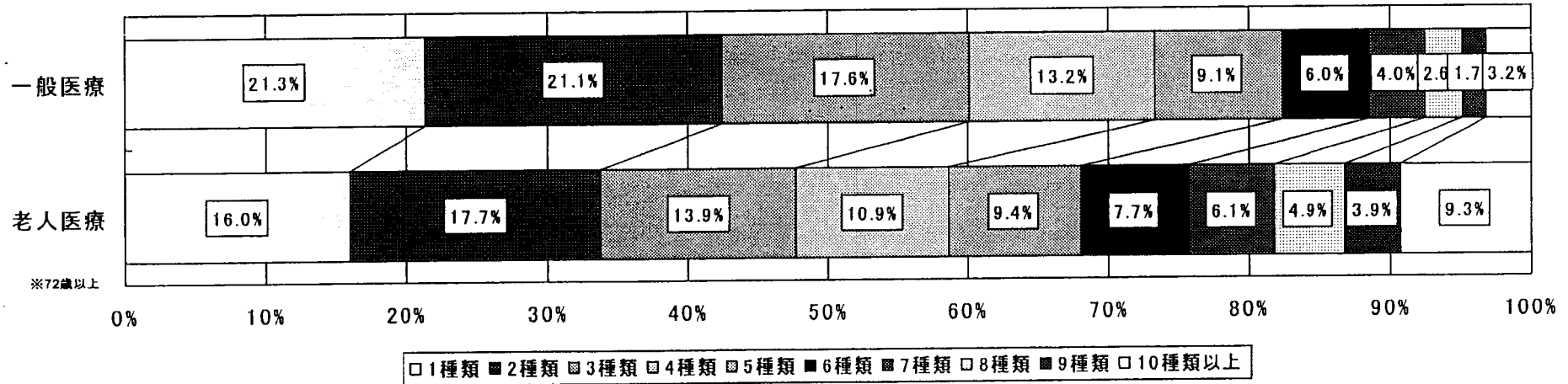


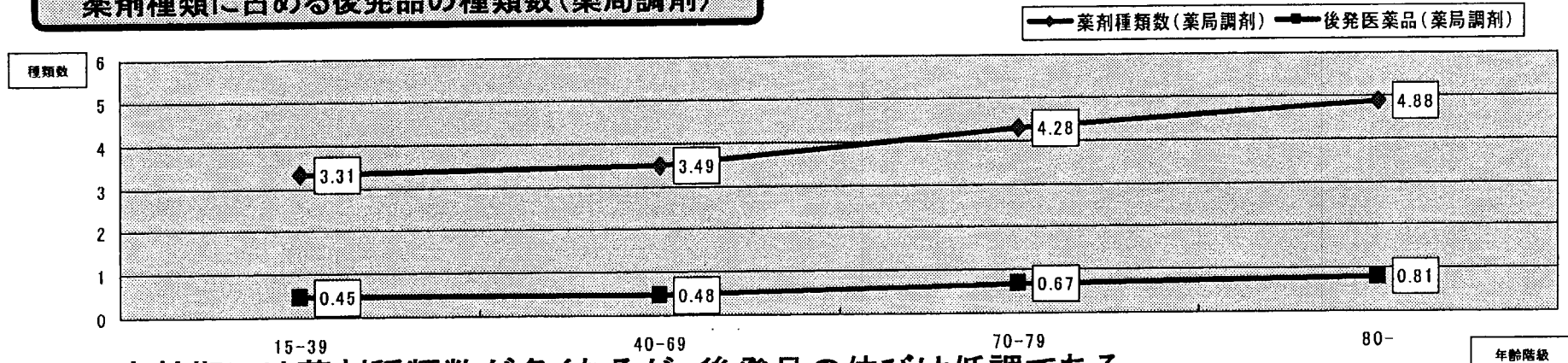
薬剤給付の適正化

高齢者の薬剤種類数の状況(薬局調剤)

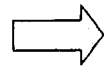
出典:厚生労働省大臣官房統計情報部「社会医療診療行為別調査」平成17年



薬剤種類に占める後発品の種類数(薬局調剤)



- 高齢期には薬剤種類数が多くなるが、後発品の伸びは低調である

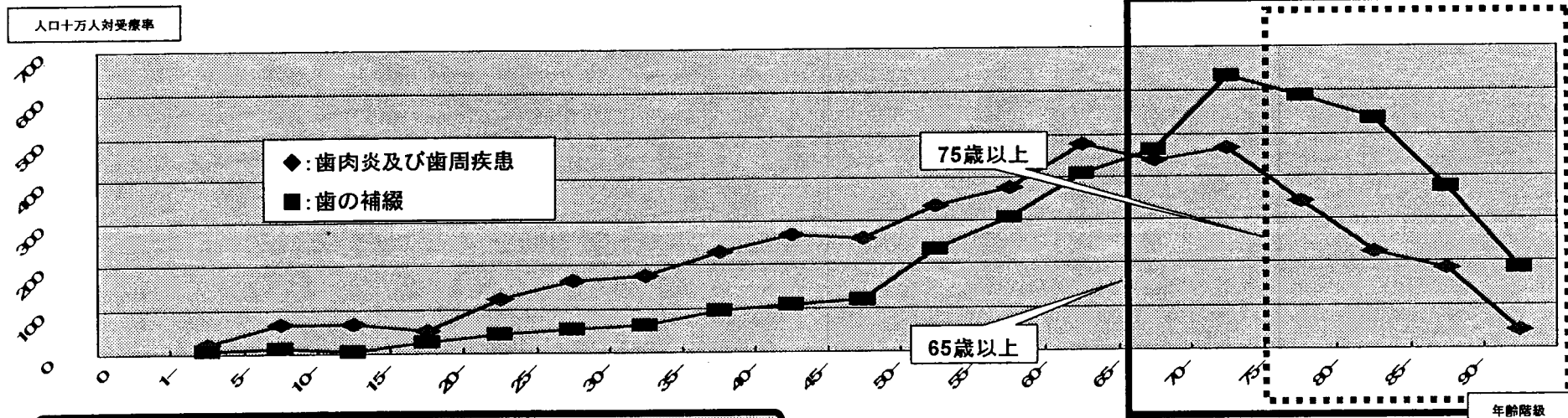


処方せん様式をさらに見直すべき(原則「後発品」)。
薬担規則に後発品調剤の努力規定を盛り込むべき。

歯科医療における口腔ケア・予防の充実

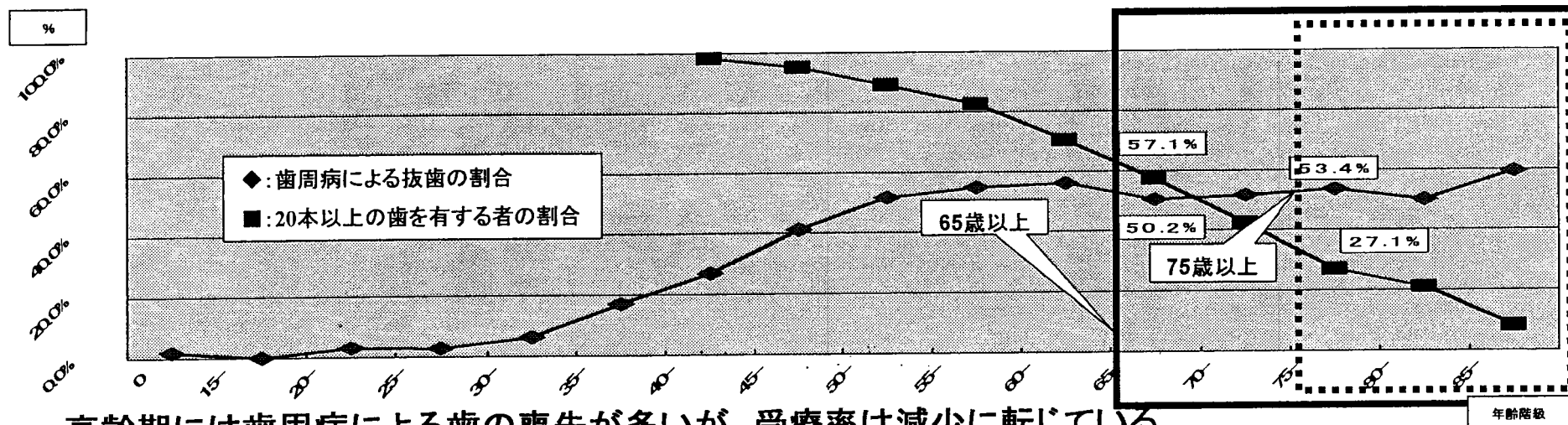
高齢者の受療状況(歯科)

出典:厚生労働省大臣官房統計情報部「患者調査」平成17年

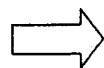


歯周病による抜歯と20本以上の歯を有する者の割合

出典:厚生労働省「歯疾患失態調査」平成117年/財団法人8020推進財団「永久歯の抜歯原因調査報告書」平成17年3月



高齢期には歯周病による歯の喪失が多いが、受療率は減少に転じている



口腔清掃、義歯等の調整などの口腔ケアを評価すべき。
中高年期を対象に歯科保健対策をさらに推進、強化すべき。

平成 19 年 9 月 20 日

社会保障審議会医療保険部会
部会長 糠谷 真平 殿

社会保障審議会医療保険部会
委員 古橋 美智子
(社団法人日本看護協会 副会長)

後期高齢者医療の診療報酬体系の骨子(案)についての意見

後期高齢者医療の診療報酬体系創設に向けた具体的検討において、日本看護協会は、高齢者の尊厳を守る総合的な療養生活の支援を実現化する観点から、以下の6点について、提言します。

1. 切れ目ない一体的な在宅療養支援に向けて、多職種チーム連携を充実させること
2. 在宅療養移行に向けた退院支援を充実させること
3. 地域連携体制の構築と施設体系の整備を行うこと
4. 在宅療養における看護師の自律的な判断に基づく訪問看護の提供体制を整備すること
5. 主治医の明確化と情報提供、及び意思決定の支援を行うこと
6. 医療保険制度と介護保険制度の整合性を持たせること

1. 切れ目ない一体的な在宅療養支援に向けて、多職種チーム連携を充実させること

医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ後期高齢者の在宅療養生活を支えるには、主治医、看護師、PT・OT、薬剤師、歯科医療従事者などの果たすべき役割を踏まえ、チームとして連携してケアが提供されるとともに、在宅医療における医療従事者間の情報共有や連携のみならず、介護・福祉関係者との相互の情報共有や連携を、チーム横断的に行う必要がある。

今後、在宅における多職種チーム連携による効率的な療養支援の観点から、疼痛緩和ケアにおける麻薬の包括指示に関するガイドラインの策定、さらに、往診による死亡診断が困難な実態を踏まえ、看取りの諸制度の見直しとガイドラインの策定についての検討が求められる。

2. 在宅療養移行に向けた退院支援を充実させること

後期高齢者の在宅療養生活への円滑な移行を実現するには、入院中に在宅生活の見通しをたてた上で十分な準備を進め、患者及び家族の在宅生活に対する様々な不安を軽減し、退院後のトラブルを未然に防ぐよう、退院前後の支援を重点的に行うことが重要である。特に、病院に退院調整部門を設置して、ケアカンファレンス等地域連携による退院支援を充実させることは、入院から在宅療養への円滑な移行の観点から、重要である。

3. 地域連携体制の構築と施設体系の整備を行うこと

急変時の対応等を踏まえ、円滑な入院が可能となるよう、医療機関の連携や後方病床の体制整備は重要である。特に、後期高齢者の場合、入院後のせん妄等や退院後の受け入れ先が確保できないことなどによる入院の長期化等の問題から、入院先の確保は困難を伴う。

同時に、将来の超高齢社会に向けて、高齢者用住宅の整備が進むように、関連省庁等と横断的に連携を図りながら、計画的な整備が求められる。

4. 在宅療養における看護師の自律的な判断に基づく訪問看護の提供体制を整備すること

後期高齢者の心身の特性を踏まえた療養生活ならびに安らかな死を迎えるための支援の重要性を踏まえると、在宅においても担当看護師を明確にし、利用者の療養生活を尊重した療養相談や指導ができる体制を整える必要がある。さらに、「療養上の世話」については、医師の指示を仰ぐことなく、看護師の観察や判断に基づいた栄養摂取や清潔の保持等に関する療養指導ができるような仕組みを整える必要がある。

在宅療養生活の支援においては、看護師が、知識・技能を高め、医師との適切な連携のもとに、その専門性、自律性を発揮し、患者の生活の質の向上に資する的確な看護判断を行い、適切な看護技術を提供していくことが重要である。

5. 主治医の明確化と情報提供、及び意思決定の支援を行うこと

後期高齢者の疾病管理を総合的に担う主治医について、定義の明確化とともに、後期高齢者がどのように主治医を見つけるのか、明瞭な順序を設定し、情報提供を推進する必要がある。さらに、主治医の役割について、後期高齢者の立場から評価できる仕組みを構築する観点も求められる。

また、後期高齢者の尊厳を守るため、住みなれた場所や地域において、安らかな死を選択するための自己決定を支援できるような情報提供を行うことが重要である。具体的には、療養計画の策定においては、看護師及び後期高齢者とその家族を含め、個別性を尊重しニーズに応じた療養の選択、及び療養方針の選択に係る情報提供と意思決定の支援を提供することが求められる。同時に、高齢者の独居世帯の増加にも対応できる医療及び介護・福祉の地域連携体制の構築にも十分に配慮するとともに、高齢者の受療行動を見据え、地域に密着した決め細やかな相談支援機能を持つ保健師等の活用が求められる。

6. 医療保険制度と介護保険制度の整合性を持たせること

医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ後期高齢者にとって、介護保険サービスと連携のとれた一体的なサービス提供が重要であるため、医療保険制度と介護保険制度の横断的な連携による一体的な運用、及び制度間の整合性を持たせることが必要である。

さらに、在宅療養の継続にあたり、家族の介護負担を緩和する観点から、特に、入院医療より、在宅医療や通院医療に関する家計の費用負担が大きくならぬよう、保険制度上の不整合について、調整を図ることが必要である。

以上

平成19年9月20日

社会保障審議会医療保険部会
部会長 糠谷 真平 殿

社団法人 日本薬剤師会

後期高齢者医療の診療報酬体系の骨子（案）に対する意見

「後期高齢者医療の診療報酬体系の骨子（案）（たたき台）」に対する日本薬剤師会の考え方を、以下のとおり提出いたします。

1. 高齢者における薬物治療の特性と留意点

- ① 加齢とともに複数の疾病を合併する割合が高くなり、使用薬剤数が増加する。また、複数の医療機関や診療科を受診する確率が高くなる。
- ② 高血圧など生活習慣病の罹患率が高く、長期にわたり薬物治療を受ける患者が増加する。
- ③ このため、副作用が発生しやすくなるとともに、重複投薬や薬物間の相互作用の危険性が高くなる。
- ④ また、腎臓機能、肝臓機能などの生理機能の低下により、薬物の作用が増強したり、副作用が発生しやすくなる。
- ⑤ さらに、視覚・聴覚機能の低下、認知症の増加、嚥下障害等を考慮すると、服薬の自己管理が困難となり、調剤工夫等による服薬支援が必要になる。

2. 医薬品の適正使用と安全管理のための取り組み

高齢者においては、その薬物療法の特性に留意し、薬物が有している作用や副作用に注目するなど、薬学的観点から医薬品の適正使用と安全管理のために、以下のような取り組みが不可欠である。

また、薬局においては、休日・夜間等を含めた24時間の対応が必要になることから、地域単位でその取組が促進されるような評価をすべきである。

(1) 外来医療

- ・ 複数の疾病の治療において、複数の医療機関や診療科を受診する確率が高くなることに起因する重複投薬や相互作用を防止するためには、地域単位で医療機関と薬局とが連携して患者毎の使用薬剤を一元的に管理することが不可欠である。そのため、地域単位での医療機関等との連携を図りつつ、どこの医療機関を受診しても同一の薬局で調剤を受ける、「かかりつけ薬局」・「かかりつけ薬剤師」の推進があるべき姿である。

- ・ ただし、現在のインフラ整備の状況を考えると、医療機関における医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師及び看護師）や患者自身が、服用している医薬品の情報を確認できるよう、多くの薬局が発行している「お薬手帳」の活用が現実的な対策と考える。

（2）入院医療

- ・ 使用薬剤数の増加に伴い副作用が発生しやすくなるため、副作用の未然回避や重篤化回避への対応をはじめ、副作用の発生時にも早期対応が可能となるよう、薬剤師が他の医療関係者と連携して、病棟での患者の服薬状況や身体の状態を常に観察していくことが必要である。
- ・ 入院時においては、医療機関において、外来・在宅医療における使用薬剤の状況を持参薬や「お薬手帳」等で確認し、退院時においては、入院中の使用薬剤等に関する情報提供を「お薬手帳」等を用いて行い、退院後の医薬品の適正使用が確保されるよう地域薬局との連携を図ることが必要である。

（3）在宅医療

- ・ 患者の居宅や福祉施設では、使用薬剤の管理が十分に行われていない場合も少なくない。そのため、適切な服薬指導・支援や、薬剤の保管状況や服薬状況の確認等が、入院医療や外来医療の場合と比べてより必要となることから、他の医療職種等と連携・情報共有を図りながら、居宅における服薬支援業務の評価を進めるべきである。

（4）疼痛緩和ケア等

- ・ 外来及び在宅での疼痛緩和ケアの推進にあたっては、医療用麻薬の適正使用及び管理の徹底を図る必要がある。そのためには、調剤した薬剤師が適切な服薬指導・支援を行うとともに、保管管理や廃棄等の方法について患者及び家族に指導を行い、また、定期的にその状況を確認する業務を評価するべきである。
- ・ また、経管栄養療法、高カロリー輸液療法にも対応できる薬局機能の整備・強化を進める必要がある。

3. 後期高齢者医療制度における調剤報酬・診療報酬の在り方

後期高齢者医療制度の診療報酬（調剤報酬）については、後期高齢者における薬物治療の特性を踏まえ、特に、前項に示した業務の適切な評価が必要である。

後期高齢者における医薬品の適正使用と安全管理を十分に担保するため、薬局・薬剤師によるこれらの業務が継続的に実施可能となる診療報酬（調剤報酬）体系とすることが必要である。

後期高齢者医療制度を踏まえた歯科医療に対する基本的な考え方 (概要)

社団法人 日本歯科医師会

1. 本制度における歯科医療の意義

近年の様々な研究により、高齢者に対する歯科医療は、単に義歯などの治療による咀嚼機能の回復に留まらず、口腔全体の機能の回復、誤嚥性肺炎の防止、ADL、QOLの改善などに寄与することがEBMを持って明らかになってきている。

さらに、歯科医療は、高齢者の口腔機能の回復とその維持により、8020達成者を増加させ、社会的行動の積極化、全身の健康の維持増進に貢献し、その結果の一つとして、医療費の適正化に寄与すると考えられる。

また、「食」は人間としての尊厳を守るための大切な営みであり、歯科は最後までこれを支える。「昨日食べたものが美味しかった」と言って逝かれるためにも、看取りの歯科医療（ターミナル・デンティストリー）の確立が必要である。

2. 本制度の実施に向けての歯科医療提供の在り方について

入院中の患者や介護者の口腔内は、急性期の治療をはじめ、その管理が十分に行われず極めて劣悪な状況となる危険性があるだけでなく、口腔機能全体の低下を引き起こす。さらに、栄養摂取の低下によって低栄養状態となり、全身に影響を及ぼすこととなる。これらを防ぐために、外来、入院、居宅（入所）の高齢者に対する歯科の役割は重大で、かつ不可欠のものとする。

後期高齢者に対し、様々な状況下で適切な歯科医療を、継続的かつ効果的に提供していくためには、地域において医師、薬剤師、看護師をはじめとした医療関係者等と連携強化と情報の共有化を図らなくてはならない。地域医療の中で外来、入院、居宅（施設入所）間の引継ぎを円滑に間断無く行うためには、これまで歯科医師がほとんど参画していなかった医療連携の枠組みに組み込まれる必要がある。ことに、誤嚥性肺炎や低栄養等の防止に資する口腔管理は、急性期の入院から回復期・維持期の在宅（施設）に至る療養を通じて必要であることから、その体制整備の在り方について検討すべきである。

そこで、地域における新たな医療提供体制を構築する上で、都道府県の医療計画においては、4疾病をはじめとして、各医療圏域ごとの医療計画や地域連携パスの中に、歯科医療を位置づけることが必要である。

3. 本制度における歯科診療報酬の在り方について

口腔の状態は75歳から急に変化することではないことから、成人期からの制度の連続性が不可欠である。その一方で、歯科医療の受診率は、高齢者になるほど減少している。本制度の目的達成のためには、高齢者への口腔管理の重要性に係る教育的介入が必要であり、さらに、受診率を向上させるために健診等により受診の必要性の理解を深めることが必要である。

その上で、出来高払いの原則を踏まえつつ、以下にあげる項目をはじめとした、後期高齢者の心身の特性に応じた歯科医療の提供を適切に評価する診療報酬体系への見直しが必要である。

- ・在宅をはじめとした歯科訪問診療を推進していくために、訪問歯科診療料に関連する項目の見直しが必要である。
- ・「在宅療養支援歯科診療所（仮称）」の制度上の位置づけとその評価が必要である。
- ・訪問歯科診療推進ならびに連携する医療、介護等との連携を推進するための機能を有し、かかりつけ歯科医機能を支える「地域歯科医療センター（仮称）」の位置づけと、これらの連携体制を評価することが必要である。
- ・摂食嚥下障害等を有する患者に対する「機能改善訓練用義歯（仮称）」とそれを用いて行うリハビリテーション技法について評価することが必要である。
- ・要介護者等の誤嚥性肺炎防止に資する口腔内清掃管理の効果が十分に認められていることから、歯科医師、歯科衛生士の行う後期高齢者の口腔機能の維持管理に対する評価を見直すことが必要である。